

コスト縮減の取り組み ～耐候性鋼材の使用により維持管理費のコスト縮減を図ります。～

頓原維持出張所管内では、現在、2橋の橋梁架設工事を行っています。

この橋梁の橋桁は「耐候性鋼材」という鋼材を使用しています。

通常の普通鋼材を使用した橋梁は、塗装してサビないようにします。この場合、数年毎に塗装の塗り替えが必要になります。

「耐候性鋼材」は鋼材の表面にあらかじめ、安定サビを形成するように鋼材の成分を調整し、安定サビが保護皮膜となって、鋼板部にサビが進行することを防ぎます。

このため、塗装及び塗装の塗り替えが不要になり、維持管理費の縮減が図られます。

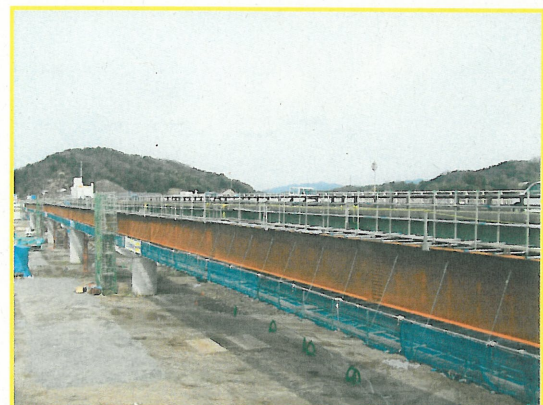
現在（初期）は黄味あるいは赤味を帯びていますが、年月（一般的に5～10年程度）とともにチョコレート色に落ち着いてきます。



耐候性鋼材の橋桁 拡大写真



殿河内新橋鋼上部工事



里熊大橋側道橋鋼上部工事